

## 県産大豆の放射性物質検査結果について（大豆第5報）

平成23年12月2日  
千葉県農林水産部安全農業推進課  
電話：043-223-3080  
千葉県健康福祉部衛生指導課  
電話：043-223-2639

県では、県産大豆の安全性を確認するため、県下全域で大豆の放射性物質検査を実施しています。

今回、市原市、成田市、旭市、勝浦市、大多喜町、館山市、鴨川市、南房総市の8市町の大豆を分析した結果、すべての検体で放射性セシウムは定量下限値未満でした。

また、検査が終了していない市町村については、出荷自粛の対応は継続しております。県では、検査の結果が判明するまでの間、市町村や関係団体等と連携し、23年産大豆が出荷・販売されることのないよう、引き続き徹底してまいります。

大豆の検査結果は、下記の県ホームページにおいて公表しております。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/annou/h23touhoku/daizu-kensa-kekka.html>

なお、他の農産物の検査結果も公表しておりますので、是非ご覧ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/annou/h23touhoku/index.html>

**市原市、成田市、旭市、勝浦市、  
大多喜町、館山市、鴨川市、  
南房総市の大豆は出荷・販売  
できるようになりました**

※ 大豆の検査は、大豆を出荷・販売している39市町村で実施する。  
市町村内の全地点の検査が終了し、安全性が確認されて、はじめて出荷・販売が可能となる。

## ○分析結果

分析機関：(財) 日本食品分析センター多摩研究所

単位：ベクレル/kg

No.	栽培地	採取日	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム 134 と 137 の合計
1	市原市	11月30日	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)
2	成田市	11月30日	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)
3	旭市	11月30日	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)
4	勝浦市	11月30日	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)
5	大多喜町	11月28日	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)
6	館山市	11月28日	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)
7	鴨川市	11月28日	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)
8	南房総市	11月30日	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)	検出せず (20未満)

注1) ベクレル：放射能の強さを表す単位で、単位時間（1秒間）内に原子核が崩壊する数を表す。

注2) 「検出せず」とは、定量下限値未満であることを示す。括弧内の数字は定量下限値。

なお、定量下限値は以下のとおり

放射性セシウム 134 : 20 ベクレル/kg

放射性セシウム 137 : 20 ベクレル/kg

### 【参考】暫定規制値（穀類）

放射性セシウム : 500 ベクレル/kg

※ 大豆は「穀類」に含まれる

## ○ 大豆の出荷・販売が可能な市町村（12月2日現在）

千葉市・市原市・野田市・成田市・栄町・香取市・神崎町・旭市・東金市・  
大網白里町・横芝光町・長南町・勝浦市・大多喜町・館山市・鴨川市・南房総市・  
木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市（計21市町）

## ○ 今後、大豆の検査を予定している市町村（12月2日現在）

八千代市・柏市・我孫子市・佐倉市・四街道市・印西市・富里市・酒々井町・多古町・  
匝瑳市・芝山町・茂原市・一宮町・睦沢町・長生村・長柄町・いすみ市・鋸南町

（計18市町村）